

「銀行代理店制度見直しの論点整理」に対する意見

〔平成 17 年 2 月 14 日〕  
〔社団法人 第二地方銀行協会〕

銀行代理店制度見直しの基本的方向性については、顧客サービスや利便性向上の観点から評価している。

他方、銀行代理仲介業が有効に活用されるためには、銀行代理仲介業者の業務の適切な遂行が不可欠であることから、今後、具体的な制度設計を検討するに当たっては、規制緩和に伴い起こりうる弊害をも十分見極めたうえで、金融システムの安定性確保、利用者保護のためのルールを明確化することが必要である。

その際、適正な業務遂行を担保する観点から、銀行に対する規制内容に準じて、業務の種類・態様に応じ、人的構成や体制整備等に関する所要の措置を講じることが必要と考える。併せて、当局による検査・監督のあり方についても明確にすべきと考える。

以 上